

Numazu Fresh News

6月5日、出水期(6/15~10/30)を前に、狩野川治水の要(かなめ)「狩野川放水路分流堰」の操作訓練を実施

発信日:2014/6/5

発信者:沼津河川国道事務所

沼津河川国道事務所は、6月5日(木)伊豆長岡出張所にて、関係職員12名が狩野川放水路分流堰操作訓練を実施しました。訓練では出張所長・係長が講師となり、放水路の安全パトロールならびに放水路ゲート操作訓練を行い、出水期に備えました。

操作要領に基づく操作訓練を実施



操作卓に座り、実際に分流堰を操作



実際に分流堰を操作し手順を確認

(1) 狩野川の治水の要となる放水路分流堰は、本川4,000 m^3/s の内2,000 m^3/s までを分流します。放流は固定堰(高さ標高10.6m)を超える場合に可動堰を操作し分流を行います。これにより、下流の水位上昇が抑制され、狩野川下流域の伊豆の国市、函南町、三島市、清水町、沼津市に多大な恩恵をもたらしています。

放水路の安全確認パトロールの訓練実施



河川パトロール車で放水路の安全確認を実施



- ・放水路の河口部(沼津市口野地区)で表示板を確認
- ・本番ではサイレン吹鳴の確認も行う

(2) 放水路河口部は沼津市口野地区にて駿河湾に流れています。分流を行う際は、地元市町、所轄警察、漁業関係者に連絡を行い、さらに現地にて安全確認を行います。狩野川放水路は昭和40年完成以降120回の操作され、毎回必ず事前の安全確認を実施し操作しています。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。